

2. 目標達成計画

グループホーム サンライト

平成25年11月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	・重度化対応・終末期の対応指針については入居時に家族に説明し同意を得ているが、終末期、急変時の対応について意思確認の同意書をとっていない	・終末期・急変時に医療従事者や救命救急士等から救命救急措置や延命措置の有無の希望について判断を迫られた時、家族に連絡がとれない時もある。その際、入居者や家族の意思に従って対応できるようにする	・陽光会の全体会議でも議題にあがり、陽光会全体で統一した書面を作成した。面会時、家族に直接説明を行い、持ち帰って家族で話し合っていただくようお願いしている	2ヶ月
2	43	・入居者9名中、3名は布パンツを使用しているが、他の方はリハビリパンツを使用している。	・できるだけ日中はトイレに行ってくださいように自立に向けた支援を行っているが、尿意・便意が少しでもある方はできるだけ、昼間だけでもリハビリパンツから布パンツに替えていけるように支援する	・春先から実施する計画。現在は、今まで以上に個人の排泄パターンを把握し、声かけやトイレへの誘導を行って失禁を少なくし布パンツへの不安を軽減できるようにしている	12ヶ月
3	35	・緊急連絡網に近隣の方も登録してあるが、年2回の消防避難訓練への参加がなかなか実現できていない	・災害時、特に夜勤時は職員が一名になる為に、近隣の方々の協力が不可欠である。年2回実施している消防避難訓練に、日頃から地域との連携を図り、近隣住民の方々にも訓練に参加していただくようにする	・町内会の運動会に参加させていただき近隣の方々と交流を図ることができ、11月の消防避難訓練には2名の方に参加していただいて、ご意見やご要望をいただいている	12ヶ月
4	48	・入居者一人ひとりの楽しみごとや趣味、生きがい等をその日の希望に沿って支援できていない。	・利用者それぞれの情報により楽しみ事や趣味・得意な事を把握し、レクリエーション等に取り入れているが、個人がもっと張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援する。	11月中旬から毎週日曜日を入浴無しの日にして、入浴者ひとりの個別支援の日を設け、職員を半日独占できる時間をつくり、外出でも何でも思いや希望をかなえられるよう支援していく	12ヶ月
5	6	・玄関に意見箱を設置しているが、苦情・意見・要望等が入れられることが少ない。	・家族が面会に来られた時や運営推進会議に出席していただいた時等、もっと何でも話していただけるような雰囲気作りや声かけを職員全員が徹底し、出された意見や要望を運営に反映していくようにする	・意見箱の位置をもっとわかりやすくする。年2回の家族交流会前にグループホームへの満足度調査等、アンケートを実施し、家族の意見・要望・苦情等を把握できるようにする	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。